

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		林道整備事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040105000799
		総合計画の施策名				単独/補助	補助	所属課	050101
		0401 農林業の振興						課長名	農林課
		政策名						グループ	農林G
		04 活力ある産業のまちづくり						担当者名	
		01 農林業の振興							
		05 ⑥森林(里山)の保全と魅力づくり							
		手段名							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)
	01	06	02	03	01	00	林道整備事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 林道の路肩や路面の決壊等が発生した場合、改良事業として県に申請し、整備を行う事業である。 また、開設林道の維持管理を実施している事業である。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所の現地確認 県への補助申請 工事の設計および発注 工事管理 県への実績報告

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
工事実施箇所 ・県単 林道改良工事(酒寄線) L=49.5m ・県単 林道改良工事(端上線) L=56.0m	工事実施箇所	箇所	2.00	2.00	3.00	2.00	0.00
	工事実施延長	m	90.00	100.00	100.00	100.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
市内林道	林道の総延長	m	14,441.00	14,441.00	14,441.00	14,441.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
未整備箇所の舗装及び改良	舗装率	%	25.77	26.46	27.15	28.00	0.00
	改良率	%	33.97	34.66	35.35	36.04	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		30年度	01年度	02年度	期間限定	
		(実績)	(実績)	(計画)	総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	3,360	3,360	4,000
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	12,701	11,603	38,689
	事業費計(A)	千円	16,061	14,963	42,689	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

		01年度事業費 実績(千円)		02年度事業費 予算(千円)	
事業費の内訳	11 需用費	699		11 需用費	278
	12 役務費	61		12 役務費	61
	13 委託料	4,752		13 委託料	11,088
	14 使用料及び賃借料	98		14 使用料及び賃借料	264
	15 工事請負費	8,664		15 工事請負費	30,228
	16 原材料費	689		16 原材料費	770
		合計	14,963	合計	42,689

事務事業名	林道整備事業	事務事業No.	40105000799	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 端上線の舗装工事は、平成9年度から地元要望により着手された事業である。 酒寄線及び端上線及び楯柄山線の改良工事は、豪雨災害や路肩崩落に伴う改良事業である。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 端上線舗装工事の早期完成が望まれている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 当初からの目的は、継続事業として進行し達成されている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 林道は公共道路の役割も担うため、事業を市で実施することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 林道整備に必要な道として、また生活道や森林浴ができる効率的な森林施行に重点を置いた林道整備が必要になってくる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 森林や林道が荒廃し、通行に危険が生じる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がなく統廃合や連携は難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 地元要望もある中で、県と連携しながら必要最低限の事業費で継続して事業を行っており、これ以上の事業費の削減は難しい。 人件費については、現場確認にも時間を要する場所で、また設計も委託し最低限の業務時間で事業を行っている。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 林道の改良事業に関しては地元要望によって着手しているが、用地や補償費については無償で協力することが整備の条件となっている。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	現在の林道整備の目的は、観光や生活道路としての役割が重要視されている。今後も効率的な林業施行に重点を置いた林道整備が以前にも増して求められている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○												
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
		○																								
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>